

科目名	コーチング概論2						年度	2024	
英語科目名	Introduction to Coaching 2						学期	後期	
学科・学年	スポーツ健康学科 テニスコース 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	演習
担当教員	手島	教員の実務経験		有	実務経験の職種		コーチデベロッパー、大学講師		
【科目の目的】 日本スポーツ協会公認指導者資格の取得に必要な共通科目Ⅲおよびコーチングアシスタント資格取得に必要な知識と実践力の獲得を目指します。									
【科目の概要】 グッドコーチに求められる医・科学知識や現場・環境に応じたコーチングを学びます。									
【到達目標】 豊かなスポーツ文化の創造や、スポーツの社会的価値を高める事に貢献できるようなスポーツ指導者を目指します。 A. スポーツ指導に係る高度な理論的知識や事実的知識を幅広く多様に持っている B. スポーツ指導に係る目標達成に向けた複雑で予測困難な課題を解決するのに必要となる高度な技能を持っている C. 常に自らを内省し、課題を設定することで、知識と技能の幅を広げていく意志を持っている D. JSP0が掲げるグッドコーチに必要な要素について理解している E. コーチとして誰とでもオープン且つ、建設的なディスカッションを行い、適切なコミュニケーションをとることができる									
【授業の注意点】 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	スポーツ指導に係る高度な理論的知識や事実的知識を幅広く多様に持っている		スポーツ指導に係る高度な理論的知識や事実的知識を「ある程度」持っている		スポーツ指導に係る高度な理論的知識や事実的知識を「一部分」持っている				
到達目標 B	スポーツ指導に係る目標達成に向けた複雑で予測困難な課題を解決するのに必要となる高度な技能を持っている		スポーツ指導に係る目標達成に向けた複雑で予測困難な課題を解決するのに必要となる高度な技能を「ある程度」持っている		スポーツ指導に係る目標達成に向けた複雑で予測困難な課題を解決するのに必要となる高度な技能「一部分」持っている				
到達目標 C	常に自らを内省し、課題を設定することで、知識と技能の幅を広げていく意志を持っている		常に自らを内省し、課題を設定することができる		常に自らを内省し、課題を設定することができるが、あまりうまくいかない				
到達目標 D	JSP0が掲げるグッドコーチに必要な要素について理解している		JSP0が掲げるグッドコーチに必要な要素について「ある程度」理解している		JSP0が掲げるグッドコーチに必要な要素について「あまり」理解していない				
到達目標 E	コーチとして誰とでもオープン且つ、建設的なディスカッションを行い、適切なコミュニケーションをとることができる		コーチとして誰とでもオープン且つ、建設的なディスカッションを行い、適切なコミュニケーションをとろうとすることはできる		コーチとして誰とでもオープン且つ、建設的なディスカッションを行い、適切なコミュニケーションをとろうとはするがあまりうまくいかない				
【教科書】 J S P Oリファレンスブック									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価します。積極的な授業参加度、授業態度によって評価します。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		コーチング概論2			年度	2024
英語表記		Introduction to Coaching 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	成長計画シートの振り返り	コーチング概論1で作成した成長計画シートの実践について振り返りを行う	1 計画通り進められたこと	計画通りに進められたこととその成果について抽出することができる	2	
			2 計画通りにならなかったこと	計画通りに進められなかったこととその原因について抽出することができる		
			3 総合評価	成長計画の実践について内省し、今後の取り組みについて考えることができる		
2	アンチドーピング	スポーツの価値を守るためのアンチドーピング活動について理解する	1 アンチドーピング	アンチドーピング活動の目的と意義を理解することができる	2	
			2 ドーピングはなぜしてはいけないのか？	アンチドーピングに関する正しい知識を身に付け、ドーピングをしてはならない理由をしっかりと理解することができる		
			3 ドーピングをさせないためにコーチが気をつけること	選手にドーピングをさせないための取り組みについて理解することができる		
3	スポーツ倫理1	フェアプレーの精神とグッドコーチ像1	1 フェアプレー	フェアプレーの精神について理解することができる	2	
			2 スポーツの価値	フェアプレーのその先にあるスポーツの価値について理解することができる		
			3 リスペクト	スポーツに関わる全ての人たちに対してリスペクトの精神を持つことができる		
4	スポーツ倫理2	フェアプレーの精神とグッドコーチ像2	1 グッドコーチ像	JSPQが掲げるグッドコーチ像について理解することができる	2	
			2 グッドコーチの特徴	グッドコーチの持つ特徴についてイメージし、理解することができる		
			3 目指すコーチ像	自身の目指すコーチ像を明確にすることができる		
5	スポーツ医・科学<トレーニング>	シナリオ学習から効果的なトレーニングのための課題と解決策を探る	1 シナリオ学習1 効果的なトレーニングのための課題と解決策を探ろう	シナリオからスポーツ医・科学的な課題を抽出し、その解決方法を仲間とともに考えることができる	2	
6	スポーツ医・科学<コーチング>	シナリオ学習から効果的なコーチングのための課題と解決策を探る	1 シナリオ学習2 効果的なコーチングのための課題と解決策を探ろう	シナリオからスポーツ医・科学的な課題を抽出し、その解決方法を仲間とともに考えることができる	2	
7	コーチング実践1	コーチングスキル向上のためのロールプレイ1	1 個別指導（1on1）	コーチングにおける個別性に着目し、個人に合わせた指導をすることができる 指示、提案、質問、委譲のテクニックを駆使したコーチングができる	2	
8	コーチング実践2	コーチングスキル向上のためのロールプレイ2	1 集団指導（1対複数）	集団指導は個別指導と異なる点を明確にすることができる 集団指導のために適切な配慮ができる 集団指導に必要な立ち居振る舞いができる	2	
9	コーチの幸福	コーチ自身の幸福について考える	1 選手の幸福とコーチの幸福 2 コーチの幸福	選手の幸福とコーチの幸福をそれぞれ考えることが出来る どのような状況がコーチにとって幸せな状況かについて考えることが出来る	2	
10	資格試験対策1	試験対策授業1	1 コーチに求められる役割	コーチに求められる役割について理解している	2	
			2 コーチに求められる知識とスキル	コーチに求められる知識とスキルについて理解している		
			3 対他者力	対他者力について理解している		
11	資格試験対策2	試験対策授業2	1 対自己力	対自己力について理解している	2	
			2 スポーツの価値と意義	スポーツの価値と意義について理解している		
			3 スポーツの価値を守るスポーツ権	スポーツの価値を守るスポーツ権について理解している		
12	資格試験対策3	試験対策授業3	1 ガバナンスとコンプライアンス	スポーツのガバナンスとコンプライアンスについて理解している	2	
			2 暴力・ハラスメントの根絶	暴力・ハラスメントの根絶について理解している		
			3 スポーツのインテグリティ	スポーツのインテグリティについて理解している		
13	資格試験対策4	試験対策授業4	1 スポーツ指導者の法的責任	スポーツ指導者の法的責任について理解している	2	
			2 スポーツ倫理	スポーツ倫理について理解している		
			3 スポーツトレーニング	スポーツトレーニングについて理解している		
14	資格試験対策5	試験対策授業5	1 心のトレーニング	心のトレーニングについて理解している	2	
			2 スポーツと栄養	スポーツと栄養について理解している		
			3 障がい者スポーツ	障がい者スポーツについて理解している		
15	まとめ	これまでの授業で学んだことを活かし、資格試験対策模試にチャレンジする	1 資格試験対策模試	資格試験本番を想定した模擬試験で合格点をとることが出来る	2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等